

積雪センサー

SNOW MARKER®

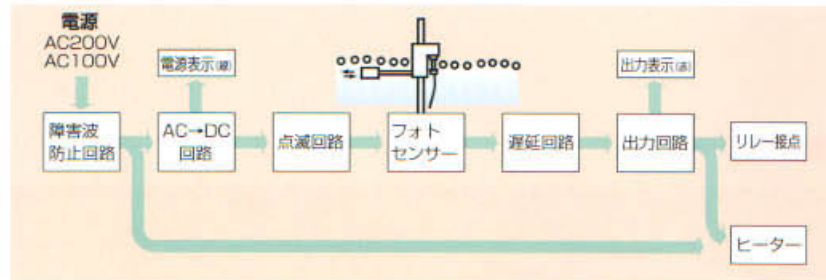
MODEL MK-31・MK-32



積雪センサーは屋根、屋上等必ずしもその表面を露出させる必要のない場所の融雪設備と連動し、積雪量が設定した深さに達すると信号を出します。
融雪により積雪量が低下すると信号を停止します。

動作原理

投光側・光ファイバーから出た変調光は、積雪があるとその間を透過、散乱を繰り返しながら受光側・光ファイバーに届きます。
この変調光の受信の有無を判断して、積雪信号を出します。



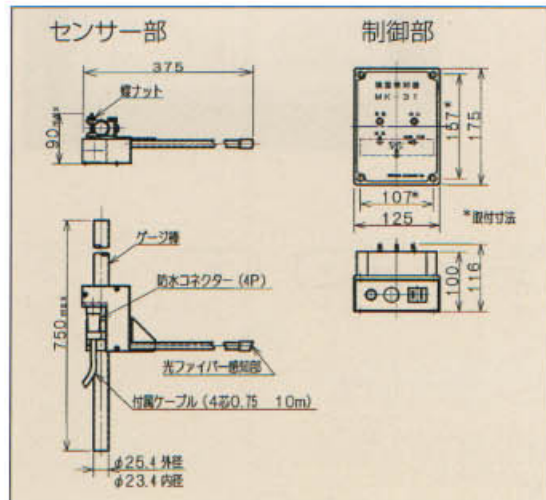
特長

- 動作状態が表示ランプ(緑・赤)で確認できます。
- 太陽光・車のヘッドライト等での誤動作防止回路付きです。
- センサー部と制御部の距離は50m迄、離せます。

用途

- 残雪融雪施設の制御に!(MK-31, MK-32)
- 道路除雪管理者の新積雪情報に!(MK-21)

外形寸法

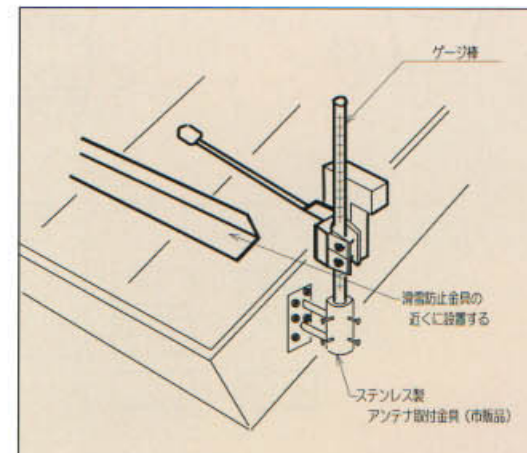


仕様

電源電圧: AC100V (許容変動範囲±10%) 周波数…50/60Hz兼用
周囲温度: -20℃~+20℃
取付場所: センサー部…屋外(融雪装置・設置箇所) 制御部…屋内
入力信号: 起動…積雪の回折散乱光を検出
復帰…融雪による積雪深の低下を検出
出力信号: MK-31 100Vコンセント(5A…ポンプの場合200W以下)
MK-32 無電圧接点1a(接点許容電流 5A/200V・AC)
MK-21 ブザー鳴動
消費電力: 7W以下
起動積雪深調整範囲: 3~50cm

センサー部の取付け例

融雪装置を有する屋根に設置して下さい。



異常警報リレー

ALARM RELAY

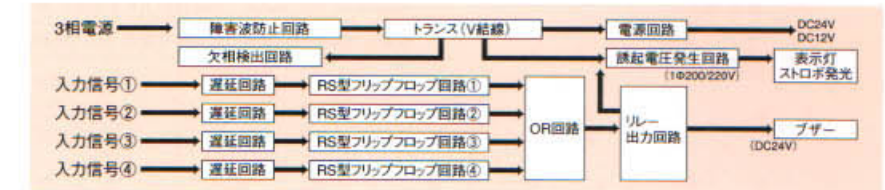
MODEL AS-011



降・積雪地域では、融雪パイプ・ヒーター等で道路や屋根の雪を処理しております。この装置はそれらの機器を効率良く運用するため、制御盤(水中ポンプ等)の異常運転(漏電・欠相・逆相・過負荷・水位低下)を遠方ないし、道路管理者に知らせる目的でつくられた製品です。

動作原理

制御盤(水中ポンプ)内に在る、3Eリレー、漏電ブレーカー、液面リレー(フロートレススイッチ)等からの警報接点を組合わせ異常信号を出します。



特長

- 道路パトロール時、車の中で故障発見ができます。(表示が有る場合)
- 制御盤(水中ポンプ等)の異常運転箇所が表示で確認できます。
- 遠隔操作時、に於いても異常箇所の表示が容易にできます。
- 無負荷時でも、電源一次側の欠相が容易に判断できます。

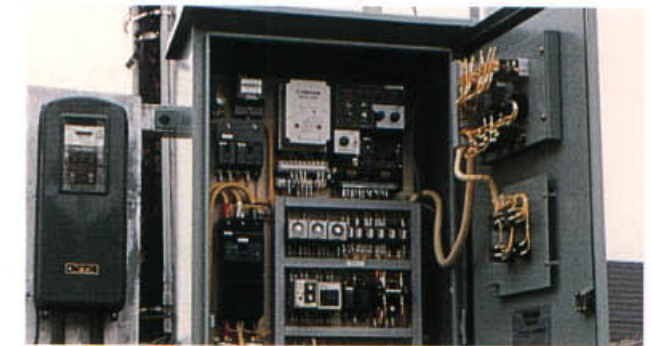
用途

- 道路融雪設備の故障判断に!(遠隔操作盤での早期発見に)
- 無散水施設の早期故障判断に!
- 屋根融雪機器の故障判断に!

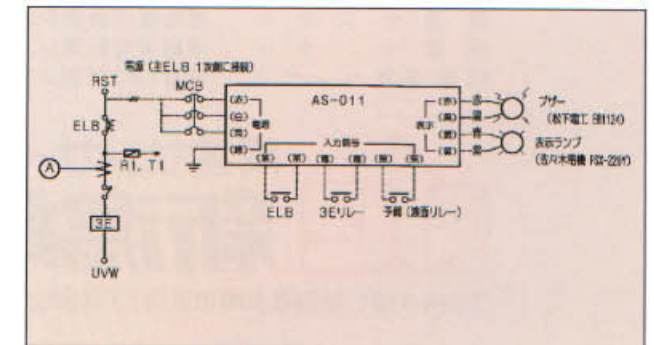
仕様

電源: 3相200/220V
制御回路: C・MOS・IC、ロジック回路
入力信号: 無電圧警報接点信号、最大3回路
(1) ELB
(2) 3Eリレー
(3) 液面リレーなど
(4) 電源欠相、試験(兼用)
出力信号: (1) 表示灯…専用ストロボ発光表示灯
(2) 電圧出力…DC24V(ブザー専用)
(3) 異常原因表示…本体表面にランプで表示(1線欠相時でも出力信号はでます。)
消費電力: 定常時…5W以下
警報発生時…7W以下

設置例



接続例



外形寸法

